

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	情報設計小委員会		主 査 名： 湯本長拍 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)		委員長名： 大原一興 主 査 名： 山田哲弥
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築環境設計に関わる情報と方法を考える (設計の在り方と情報の考察) 1・『建築の予言』出版フォローと新規研究テーマ(空間革命)への準備 (委・WG) 2・出版フォローと研究背景激変の追跡研究 (委・WG・シポ・講習会) 3・設計情報と設計方法の変化の追跡まとめ (委・WG・シポ・講習会) 4・新規出版『設計目標の自律的決定過程と設計情報・設計方法(WS のつかい方)』 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 有り (応募無し)		
	湯本長伯(神戸大学)、松本文夫 (東京大学)、村上晶子 (明星大学)、鯉坂徹(鹿児島大)、石田壽一 (東北大学)、伊藤雅春(愛知学泉大学)、宇都宮雅人 (伊藤喜三郎建築設計)、浦部智義 (日大工)、遠藤勝勸 (同 設計室)、加茂紀和子 (名古屋工業大学)、河崎昌之 (和歌山大)、松本正富 (京都橋大学)、連健夫 (同 建築研究室/早稲田大学)、山岸吉弘 (日大工)、米田正彦 (フォーラム/日本大学・明星大学) <15 名>		
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・「建築の予言企画普及」WG：すでに準備中の出版物『建築の予言』を刊行し、関連シンポジウムや校正等のフォローを行う 		
2017 年度予算	135,000円	ホームページ公開の有無： 有り 委員会 HP アドレス： http://hw001.spaaqs.ne.jp/ymtn031228/ymt/000/infoD12.html	

項 目	自己評価
委員会開催数	15 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	仮) 建築の予言—プログラムデザインから読み解く建築設計の本質 (的) 価値 書名は未確定 (鹿島出版会)
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. (名称) ミュージアムのもう一つの未来 参加者数 11 名 (資料名) ミュージアムのもう一つの未来
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 学会出版に 10 年間取り組んで来たが、最終のゲラ校正直前にまで至った 2. 研究会・ラウンドテーブルも毎月 13-5 名の参加があり、議論も盛んである 3. 次段階活動への準備は予定通り進んでおり、次年度以降の成果が期待できる
委員会活動の問題点 ・課題	<ul style="list-style-type: none"> 1. 委員会への出席人数も常に 10 数名在り、活発な活動が行えている 2. 『統計資料研究』から始まった活動を、再度根本的に設計する段階にある 3. 社会背景の激変を空間革命と呼び、計画研究課題の中心とする準備が整う